

岩国総合高校だより

「見つけよう夢 見つけよう未来」

発行日 平成28(2016年)12月22日
発行者 山口県立岩国総合高等学校
校長 金石芳朗
TEL 0827-31-6155
HP <http://www.iwakunisogo-h.ysn21.jp>

清掃ボランティア活動で地域に貢献！

12月6日(火)の午後、年末恒例の清掃ボランティア活動を実施しました。天候にも恵まれ、部活動、生徒会、家庭クラブなどの生徒や教職員、約150名が、師走の青空の下、登校坂、藤生駅周辺までの通学路、本校周辺道路など3カ所に分かれて、落ち葉やゴミ拾いを行いました。

本校は、今年の7月に、やまぐちエコリーダーズスクールとして、生徒会、環境美化委員会、家庭クラブが中心となって、環境問題やエネルギー・資源の問題に主体的な活動をすることを行動宣言しています。今年度は特に、地域のボランティア活動や清掃活動に力を入れて、地域貢献により一層取り組んでいます。この清掃ボランティア活動もその一環です。

生徒たちは、「仲間と一緒に作業するのは、とても楽しい」「ボランティアをするとさわやかな気持ちになる」など話しながら、日頃お世話になっている地域の方々に、感謝の気持ちを込めて、最後まで、笑顔で清掃活動を頑張りました。



学校周辺道路の清掃



通学路の清掃

第3回課題解決型サテライト研修 動画を使った授業研究で新たな発見！

12月2日(金)の午後、全教職員を対象とした、第3回課題解決型サテライト研修を、やまぐち総合教育支援センターの金森一哲研究指導主事を指導助言者に迎えて行いました。今回は、11月7日(月)に行った数学I(授業者：渡邊真一郎教諭)、物理基礎(授業者：山下和希教諭)、コミュニケーション英語I(授業者：藤原瞳教諭)の3人の研究授業を撮影した動画を活用し、生徒の授業に取り組む姿勢に焦点を当てて、研究協議を行いました。

授業中の生徒の表情を観察することによって、生徒が主体的に取り組むための指導について、新たな気づきをいくつも発見できました。



授業の動画を視聴



授業者の発表



グループの話合い

1年次 講演「ライフプラン作成に向けて」

12月8日(金)の5・6限、1年次の「産業社会と人間」において、(株)マイナビの梅原朋子先生をお招きして、「ライフプラン作成に向けて」と題して講演を行いました。クイズやニュースなどを通して、学校の勉強が将来の仕事にどう役立つかを学びました。



2年次 講演「チャレンジ精神！」

12月14日(水)の5・6限、2年次の「総合的な学習の時間(Wise Person21)」において、本校の8期卒業生、味村太郎先生を講師にお迎えしました。味村先生の高校時代から今までにチャレンジされたことや生き方を熱く語られ、最後に激励を受けました。



3年次 課題研究校内発表会

12月15日(木)の5・6限、3年次生の「課題研究」において、各研究グループの代表者12名が、研究成果を発表しました。今回の校内発表会では、優秀な発表者6人を選びます。選ばれた6人は、1月12日(木)にシンフォニア岩国で開催する課題研究発表会で発表します。多数のお越しをお待ちしています。



【1月～2月中旬の予定】

- 1月10日(火) 冬休み明け全校集会
- 1月12日(木) 課題研究発表会(シンフォニア岩国)
- 1月18日(水) 3年 第5期考査時間割発表
- 1月25日(水) ～31日(火) 3年 第5期考査
- 1月26日(木) 第2回PTA役員会
- 1月26日(木) 学校保健安全委員会
- 2月1日(水) 3年 家庭学習開始(毎週火曜日登校)
- 2月8日(水) 推薦入試(家庭学習)
- 2月9日(木) 1・2年 百人一首カルタ大会
- 2月15日(水) 1・2年 県内進学・仕事魅力発信フェア
- 2月16日(木) 1年 ライフプラン発表会
- 2月16日(木) 第2回学校評議員会
- 2月18日(土) PTA清掃活動
- 2月20日(月) 1・2年 第5期考査時間割発表

週頭朝礼校長講話

平成28年12月12日（月）

「社会に貢献して豊かな人生を送ろう」

先週の火曜日は、午後から、やまぐちエコリーダースクールの地域貢献活動の一環として、清掃ボランティア活動を実施しました。

部活動の部員を中心に、本校生徒の3分の1以上に相当する150名以上の生徒のみなさんが清掃ボランティア活動に参加してくれました。

登校坂の落ち葉拾い、藤生駅までの通学路や本校周辺の道路のゴミ拾い、藤生駅のトイレや本校トイレの掃除を、約1時間、明るく意欲的に取り組んでくれた結果、大変きれいになりました。

本当にありがとうございました。お疲れ様でした。

参加したみなさんには、紹介しましたが、この清掃ボランティア活動には、地域のお世話をされる社会福祉協議会の広報担当の方が同行され、取材をされました。

同行された地域の方は、日頃は、挨拶程度で、あまり話したことがない本校生徒と、インタビューや写真撮影などを通して触れ合わせ、「総合高校の生徒さんは、さわやかで、心優しい人が多いですね」というお褒めの言葉をいただきました。

本日は、このようなボランティア活動などの社会貢献をすることが、みなさんにとって豊かな人生を送ることにつながるについて、お話をします。

ボランティア活動などの社会に貢献する活動は、文部科学省や県教育委員会や教育に関する研究者や評論家も、その教育的な効果が高く（人格の完成に向けた影響力が高く）、人間性（人間力）を高めることにつながるの、適宜行うことを奨励しています。

それでは、どうして、ボランティアをすると人間性が高まるのでしょうか。

私は、その答えの一つを、歌手・エッセイスト・教育学博士のアグネス・チャンさんの今年の3月に刊行された教育に関する書籍の中で見つけました。

私は、今から11年前、教育委員会に勤務していたとき、海外視察をされた先生方の研修会でアグネスさんを講師としてお迎えして、講演会を企画したことがあります。

当時、アグネスさんは50歳だったのですが、とても若々しく（もちろん今もそうですが）前向きで、昔、私が小学生のとき、テレビのブラウン管の中で、「ひなげしの花」を可愛らしく歌っていた10代のアイドルのアグネス・チャンの笑顔と全く同じでした。

講演会では、自分の生い立ちを踏まえて様々なお話をされました。

厳格な父親のいる3男3女の6人姉弟の家庭で過ごした香港の少女時代のこと。3人の姉妹の中で小さい頃は美人の姉と頭のいい姉に比べられてやる気をなくしていたこと。少しずつ前向きになり日本で歌手デビューし、思いもよらず大ヒットをしてアイドルになったこと。アイドルになったけれど周囲の人が何もかもやってくれるので身の周りのことが何もできない（例えば、切符が買えない。電球が交換できないなど）自分に気付いたこと。そこで自立するために一人でカナダの大学で勉強したこと。小さい頃から家訓に従って行ってきたボランティア活動の取組が認められユニセフの大使になったことなどです。

とりわけ、子育てについては、仕事をされながら、思春期まっただ中で反抗期の中学生を含めた3人の息子さんが学校で引き起こす様々な問題（珍事件）に正面から向き合っ、子育てに奮闘している（むしろ楽しんでいる）ことなどを、終始笑顔でおもしろおかしく話をされました。

あれから、11年の月日が経ちました。

先週、たまたま、本屋さんの教育書のコーナーで、平積みされたアグネスさんが書かれた今年の3月に出版された本が目にとまりました。

その本は、3人の息子さんの子育てに奮闘された結果、3人とも、アメリカの大学で最も難関と言われる、スタンフォード大学に入学されたという御自身の教育法や子育てについて紹介された本でした。

私は、その本を手にしたとき、あの講演会でアグネスさんがおっしゃっていた3人のやんちゃな息子さんがこんなに立派になられたのかと思います、即座に購入しました。

その本の中に書いてあったことで、私の心に強く残ったことは次のことです。

教育や子育てで、一番大事なことは、やはり、子どもが夢を持つこと、夢に近づくように努力すること。教師や親はそれを支えること、環境を整えることです。

そのために重要なことが、子どもの自己肯定感を高める（自分を好きになり、自分に自信を持つ）ことだそうです。

それでは、自己肯定感を高めることに、最も効果的な方法は何かということ、それは、ボランティア活動などの社会貢献を行うことと言っておられます。

そのことは、教育博士であるアグネスさん自身も、ボランティア活動を通して、自己肯定感を高め、歌手としてデビューできたこと。3人の息子さんと一緒に、地域のボランティア活動や災害が起こった地域でボランティア活動に参加したことなどで、息子さんたちの心に余裕ができ、自信を付けたことなどから実証できると言われています。

そして、自己肯定感の高まった子どもは、人間性も高まり、豊かな人生が開けて来ると言われています。

これから、年末年始で学校を離れて、地域の行事などに参加して地域とつながる機会が増えてくると思います。日頃お世話になっている地域の方々のためにも、そして、自分の人間性を高めるためにも、地域に出てボランティア活動などの社会貢献活動に参加してみましょう。

それでは、今週も共に頑張りましょう。